

学年	学科	区分	単位数	期間	開設週数	時間/週	総時間
1	全工学科	必修	2	通年	30	2	60
担当教員		八田 茂樹					

【授業目的と概要】

自然環境形成の仕組みを理解し、自然と人間活動との関わりあいについて考察するとともに、今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口を考察することを目的とする。

【授業の進め方及び履修上の注意】

教科書を使いながら、にプリントを配布し、これと副教材の地図帳を用いて授業を進める。
教科書、地図帳、ノートおよびプリントを綴じたファイルを毎回準備すること。

授 業 項 目	内 容	時間
【前学期】		
1. 世界の自然環境～地形～	・大陸や海洋、平原や山脈などの大地形とプレート ・プレート運動と地形形成 ・地殻運動と火山活動	16
2. 中間試験		
3. 世界の自然環境～気候～	・大気大循環と気圧帯 ・気団・モンスーンと気候の形成 ・気候とくらし ・地球温暖化問題への取り組み ・地球温暖化問題への取り組み	10
4. 地球環境問題		
5. 期末試験		
【後学期】		
6. アジア	・アジアの自然環境と農業の特色 ・アジアの経済発展と諸問題	6
7. ヨーロッパ	・ヨーロッパの自然環境と農業の特色 ・ヨーロッパ統合の歩みと諸問題	8
8. 中間試験		
9. 南北アメリカ	・南北アメリカの自然環境と農業の特色 ・南北アメリカの経済発展と諸問題	8
10. アフリカ	・アフリカの自然環境と農業の特色 ・アフリカの近代化と諸問題	8
11. 定期試験		

【達成目標】

1. 地形や気候などの自然環境形成の仕組みについて説明できる
2. 自然環境と人間活動とのかかわりについて説明できる
3. 国際的・地域的な諸問題の現状、背景、取り組みについて説明できる
4. 上記諸問題解決への方策について考察できる

【教科書】

「高等学校 世界地理 B」、中村和郎ほか著、帝国書院

【参考書】

アクティブラーニング	
モデルコアカリキュラム	
JABEE 教育目標	
準学士課程目標	

【評価基準】

地名や用語についての正確な知識を持ち、これにもとづき上記の項目について論理的に理解・考察し、論述できていること。

【評価方法】

中間・期末および定期試験の結果 75%、夏季レポートの評価 5%、ノート・プリントの評価 20%